林業成長産業化総合対策のうち

木材産業・木造建築活性化対策（拡充）　【平成31年度予算概算決定額　1,247,157（1,087,413）千円】

＜対策のポイント＞

木材需要の拡大を図るため、**低層建築物を中心とした無垢構造材の利用拡大**、**中高層建築物を中心としたCLT等の新たな木質建築部材の利用促進・定着**、**顔の見える木材での快適空間づくり**等を支援します。また、**効率的なサプライチェーンの構築に向けた需給情報の共有やマッチングの取組を推進**します。

＜政策目標＞

国産材の供給・利用量の増加（（30百万m³［平成29年］→ 40百万m³［平成37年まで］）

＜事業の内容＞

1．低層建築物を中心とした無垢構造材等利用拡大事業　**325,985千円**

○ **非住宅分野の建築物におけるJAS構造材の利用拡大**、**横架材・2x4部材等の製品・技術開発を支援**します。

2．中高層建築物を中心としたCLT等新たな木質建築部材利用促進・定着事業　**652,417千円**

① **CLT等建築物の普及・拡大**

CLTを用いた先駆的な建築物の設計・建築等の実証、**中高層建築物等におけるCLT等の利用拡大**、**設計者・施工者等の育成**、**BIM**（３次元の建築モデルをコンピューター上で構築するシステム）**を活用できる環境整備等を支援**します。

② **新たな製品・技術の開発**

CLT等新たな建築部材の利用促進に向けた**構造設計手法や部材の標準化に必要なデータ収集**、**CLT・木質耐火部材等の製品・技術開発等を支援**します。

3．顔の見える木材での快適空間づくり事業　**48,902千円**

○ **A材丸太を原材料とする**構造材、内装材、家具、建具等の普及啓発などにより**川上から川下までの事業者の連携の促進に対して支援**します。

4．生産流通構造改革促進事業　**219,853千円**

○ **SCM推進フォーラム（協議会）の設置・運営による川上から川下までのマッチングの取組**や、**需給情報共有のためのデータベース整備等を支援**します。また、木材加工設備等導入の利子助成・リース、森林認証材の普及啓発等の取組を支援します。

＜事業の流れ＞

国 →（委託）民間団体等　／　国 →（定額）民間団体等 →（定額）民間団体等

事業費の定額、2/3、1/2、3/10、1/10

＜事業イメージ＞

非住宅分野の建築物におけるJAS構造材の利用拡大

横架材等の製品・技術開発

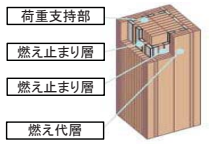
2x4部材の製品・技術開発

CLTを用いた先駆的な建築物の設計・建築等の実証

CLT

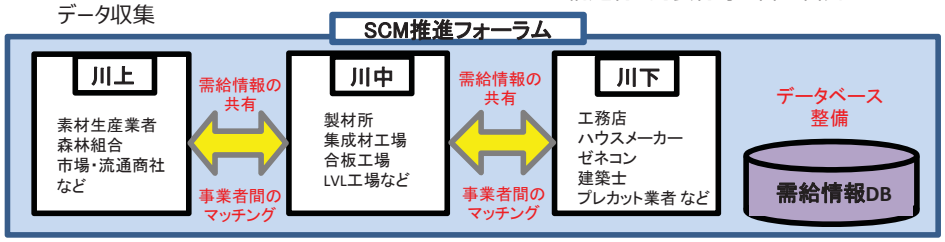
設計者・施工者等の育成

部材の標準化に必要なデータ収集



木質耐火部材の開発

構造材、内装材等の普及啓発



SCM推進フォーラムの設置・運営

［お問い合わせ先］林野庁木材産業課（03-3502-8062）